

IMPERIAL JAPANESE NAVY.

欧米視察報告第十三号

大正五年六月廿日 於倫敦

秋山 真之

舟越 楫四郎

山梨 勝之進

右田 熊五郎

英國海軍新造艦船及新兵器ノ

種類要目

英國海軍が新計畫ヲ以テ建造中ノ艦船及將來新ニ採用セリ
 セル兵器ニ就テハ從來我駐英將校ヨリ多少報告セラレタル其ノ
 種類要目等ニ至リテハ當局ノ極秘嚴守ノ為容易ニ之ヲ知ルヲ
 得ザリシカ今次小官等一行ノ陣營並ニ造船所巡視ノ際地方
 長官若ハ製造所長等ノ好意ニ依リ其一斑ヲ見聞スルヲ
 得タシハ未タ精確完全ノモノニアラザルモ單ニ見聞シタル處ノミヲ
 茲ニ報告ス

一. 新造艦船

(1) 軍艦

別表

巡洋戰艦

Republia

25,000

32

125,000

820

27'-28"

6"

上甲板
以下大

全上

Renown?

"

"

"

"

"

"

全

Quincy?

17,000

32
(35?)

90,000

735

81

81'-6"

3"

上

17,000
32
4000
4000
4000

全上

Furious?
Glorious?

32

800

戰艦

不明

30,000

700?

武裝

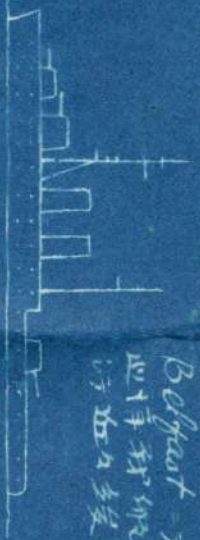
記

事

製造所

15"-6門 (=砲塔)
副砲不明 4"?

加裝中 = 主砲搭載終了
前部船体作付材料核 (Wang mine)
速力、大机ヲ想見、処ヨリ下方 = 舷側外方
= 月誌大出カ別水中防衛ヲ
= 零見入 (小零少海報告)



Belfast = 一頁大形
巡洋艦 艦中
防カ多装成 21.57.

Glasgow.
John
Brown.

加裝中.
以下台上下

Glasgow.
Fairfield.

15"-4門 (=砲塔)
上称及下地、
構造不明推斷
18" 4門、疑
副砲不明 4"?



加裝中 + 主砲塔載付ス但砲塔
二門 + 2 座実ナリ。

Newcastle
Armstrong.

18"-4門?

加裝中、航 (Gauges?) + 空型航 +
上称及下地 "長ナ疑ナリ"

台上下

加台上下 = 下 船体工本約 = 割進掛
上 = 上 船体下部 = 膨大セル水中防
壁装置、有ス、Populsa 上
室中者、耐航 + 18" 長 + 稍

Glasgow
Barron.

IMPERIAL JAPANESE NAVY.

2.

輕巡洋艦

Amunstrong	2	4,000 ton	30 knots	6" 砲 外 砲 數不明	船裝中 前 橋 " Rake 有 2m Tripod 式 後 橋 短 也
Fairfield	1	4,000 ton	/	/	船台上 一 門
Vickers	1	4,000 ton	/	/	船台上 = 1 門 水線 以下 兩 側 = 膨 大 砲 中 防 禦 裝 置 有 2m 2 門 艦 外 皮 上 間 孔 穿 透 船 側 此 plates 有 不

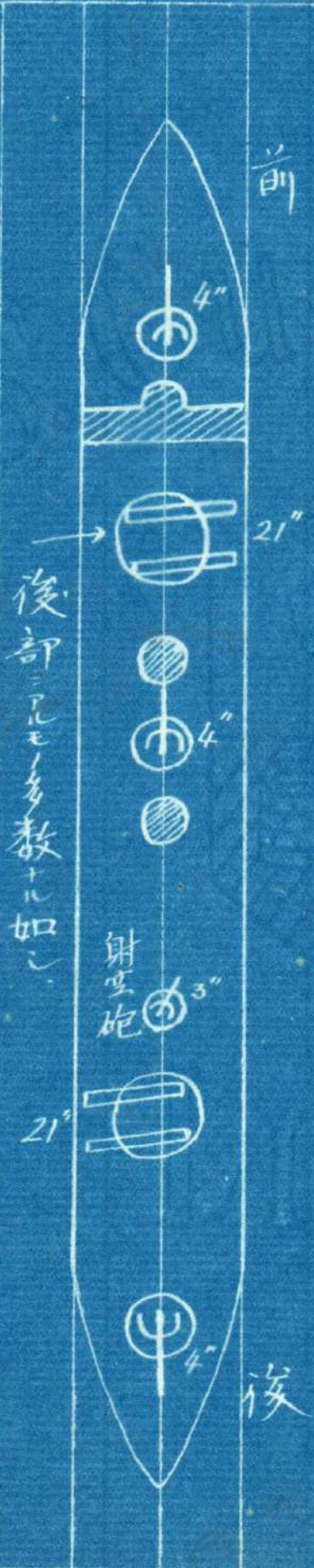
備考

此等各艦ノ探照燈位置ハ概シテ煙突ノ西側若クハ後部甲板
ヲ設ケテ稍高ク備ヘリ。

(1) 駆逐艦

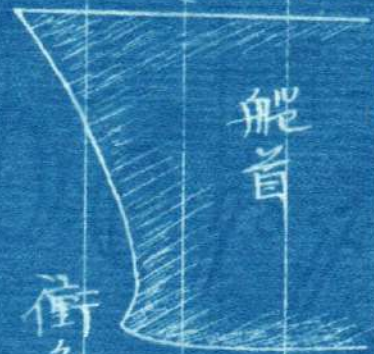
現下製造中、駆逐艦ノ多數ハ(M)型ヲ改良シタル千噸及千二百噸ノモノニテ、巡視各地、造船所ニ於テ已ニ進水艦裝中ノモノ本夕船台上ニ組立中ノモノ尙ホ組立材料ノ俟ミテ船台ノ明クヲ待テルモノ等ヲ合シ其ノ數三十隻又(小官等身タルヲミテ)ヲ下ラス

右改良M型ノ要目ハ略ホ左ノ如シ



此、駆逐艦ノ構造上ノ特色ハ潜水艇ニ衝觸スルヲ特ニ艦首部ノ強度ヲ増加シ左圖ノ如ク「ステム」ノ下端ヲ衝角的ニ變形シアリ又船体全部ニ亘リ舷障壁ヲ増加シテ例ハ士官室ノ如キ公室

船首甲板



衝角

第一私室(船長 士官名) 及第二私室(士官名)

、三小區ニ分ケレ居リ

又船尾ノ極端ニ大ナル「スリッパ」ヲ有シ又

船尾甲板上ニ必ズ棧雷掃海用大カイト

、曳航装置ヲ或ハ曳航魚雷(潛水艇 破壊用)ノ曳航装置カノ何レカヲ

艦装ニ居リ現ニ巡洋戰艦隊ニ附屬セル各駆逐隊ハ其ノ二隻

ハ曳航魚雷二個ヲ他ノ二隻ハ掃海用大凧ヲ一個裝備シ

アルヲ目標撃テセリ

グラスゴー製製造駆逐艦ノ製造監督ニ從事シワ、アル

造船監督將校及「ヤロ」社員ノ言ニ依ル最新M型駆逐艦ノ

蓄油量ハ二百六十五噸ニシテ汽罐ハ一層其ノ「スパーヒーター」ノ

度ヲ高ノ速カハ三十九節ナリト云フ

右ノ外南洋戰後特ニ潛艇駆逐用トシテ建造サレタル(P)型ト稱スル

特種ノ駆逐艦アリ其ノ特色トスル處ハ

一 船体特ニ船首ノ強度ヲ増加シタルコト

一 船ノ回轉圈ヲ極小ニシ操縦ノ便ヲ大ニスルコト

一 船体ヲ低クシテ遠見潜水艇ノ如クシタルコト

一 兵装ハ前部ニ四吋砲一門後部ニ船尾約三十度ニ向テ四吋砲

一 奥雷固定發射管二門ヲ備フルコト

一 速力ハ二十四節ナルコト

等ナリ

(ハ) 潜水艇

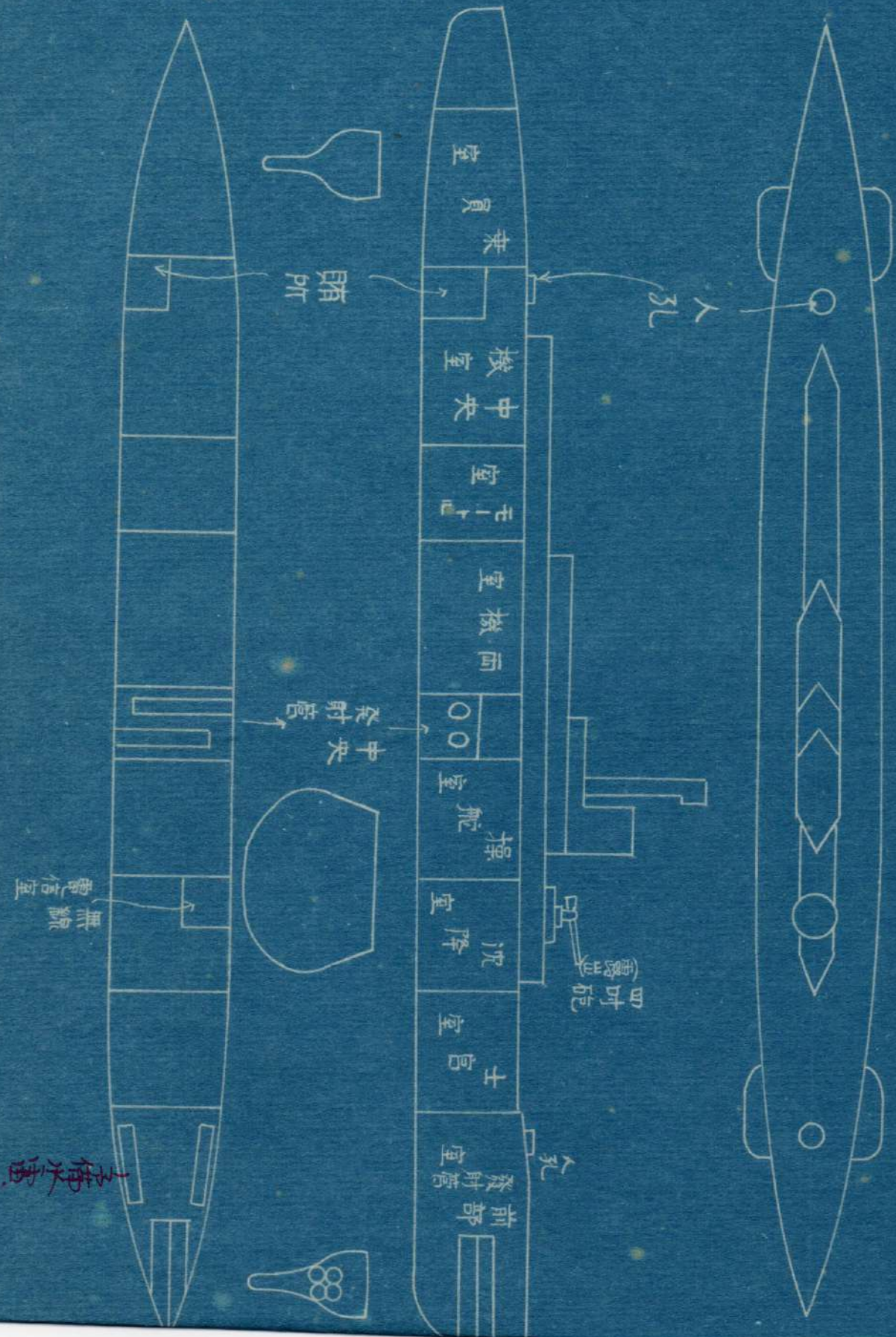
潜水艇モ亦各地ニテ多數ニ建造中ナリ就中最新ナルモノハ 毘社ニテ

瞥見シタル約十二隻ノ大型潜水艇ニシテ「ホーワウス」軍港ニテ之ト

今型ノモノ一隻已ニ殆ト竣工シテアリテ幸ニ其ノ艇内ヲ自撃シ得タルハ尤

其ノ要領ヲ圖示ス

英國最新潛水艇丁二號 略圖



丁二號潛水艇

全長 = 276 FT.

幅 = 24 FT.

排水量 = 1250 TONS (1120 TONS ?)

吃水 = 13 FT.

艇射管十八吋六門 (艇首固定四艇側固定二)

魚雷塔載數 八個

大砲 四吋砲一門

速力 17-18 KNOTS

主機型式 「ターセル」 = 17 牛 = 二百馬力 (各二組)

一組 十個 CYLINDER 有各 CYLINDER 馬力百二十

重油使用?

(一) 給油船

給油船ハ近時ノ大艦隊ニ對スル最要戰務ナルカ故ニ英國海軍ニ於テモ此ニ見ル処アリタルニヤ毘社ニテ特種ノ大給油船ヲ建造シ正ニ竣工ニテ發航準備中ノモノ一隻ヲ目撃セリ其ノ構造要領尤ノ如シ

英海軍給油船 St. Margaretta.

要目

(多少ノ誤謬ナキヲ保セス)

排水量

一萬八千噸

油貯荷量

八千噸

外ニ本船燃料油四百五十噸

機関

4-1-1セル

速力

十六節半

給油量

一時間三百噸

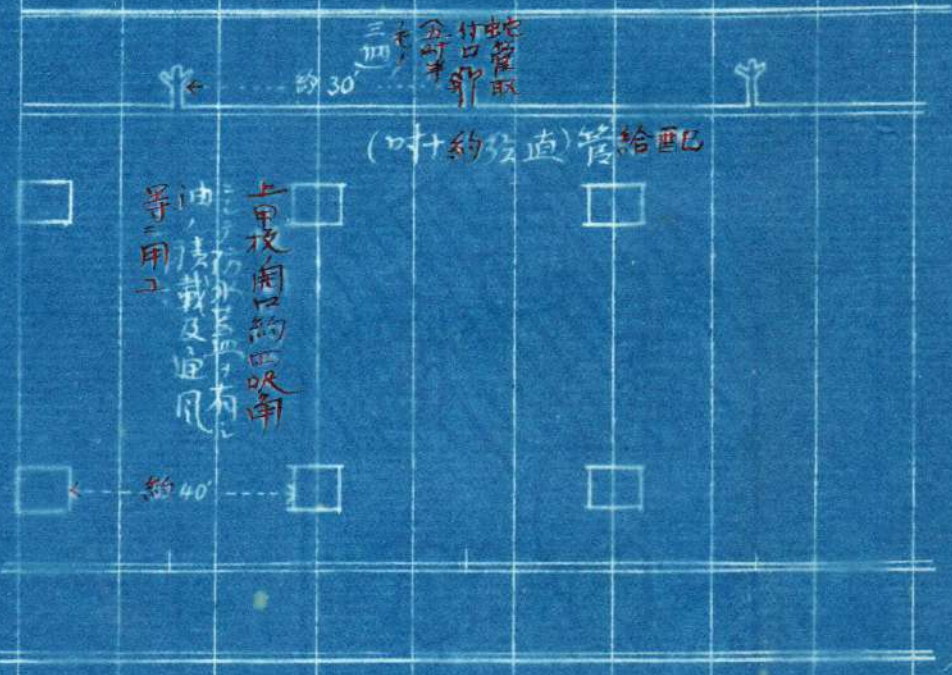
(一時間百五十噸ノ「ボンプ」ニ台)

(尤圖參照)

IMPERIAL JAPANESE NAVY.

6.3.0

側面略圖



上甲板一部平面圖

備考

一、兩舷側ニ於テ上甲板ヲ前後ニ走ル各

一本ノ油管アリ内外五吋内外ニシテ

潤滑油供給用管ト認メラル

二、プロポ西側帆尾ニ接シ二組ノ成船

用大形「ローラ」ヲ備エ身板中

駆逐艇ニ給油スル為裝設蛇

管ヲスケールワイヤト共ニ導クニ

便ス

蛇管ニ使用セラル時、フライイング

「フック」ニ活ヲ格納シ必要

ニ際シ之ヲ連絡シ「ローラ」ヲ導キ

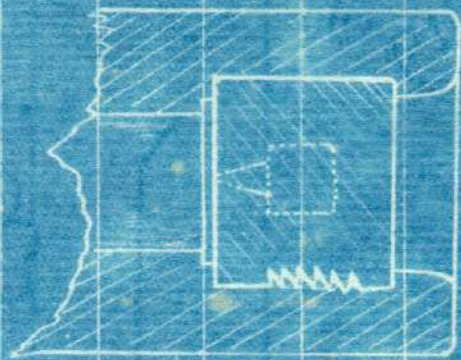
二. 新兵器

(イ) 十八吋砲

英國海軍カ十八吋砲ヲ採用セントセルハ既ニ知ラレタル処ナリシガ今次巡視ノ際果シテ毘社工場ニテ其ノ砲身ニ門波社工場ニテ其ノ彈丸多數ヲ實見セリ波社工場ニ於テ已ニ多數ノ彈丸ヲ蓄積セル上、尚ホ盛ニ之ヲ製造シワ、アルヨリ判断スレハ今砲ノ最早試驗時代ヲ経過シ實用ノ域ニ進メルガ如シ目弄ニ擴ルニ砲身ノ長サハ四十口五ラレク彈丸ノ長サハ彈帽ヲ加テ約六呎二吋ナリ

(ロ) 四吋横栓式自働砲

此ノ砲ハ已ニ新造駆逐艦ノ多數ニ裝備セルモノニテ「アームストロング」
「ヴンカース」
「コバントリ」等ノ工場ニ於テ目下多數ニ製造中ナリ
横栓ノ略ホ克式ニ類シ唯タ尤圖ノ如ク底面ニ六條ノ並行線
線ヲ有スルヲ異レウトス自働装置ハ殼拔ノ運動ニ連接セル



新機銃ヲ以テセリ。

新駆逐艦ヲヒヤル兼大尉ノ言ニ拠リハ全艦ノ四吋自働砲ハ最近ノ射撃ニ於テ一分ニ二十五發ヲ發射シ命中成績良好ナリト云フ。

新魚雷

過般ノ大海戰ニ於テ驅逐艦ノオバガエニスニ司令ヲリシ前記

「ケラスブ」製魚雷並特種ノ諸ニ依リ英國カ最近改良

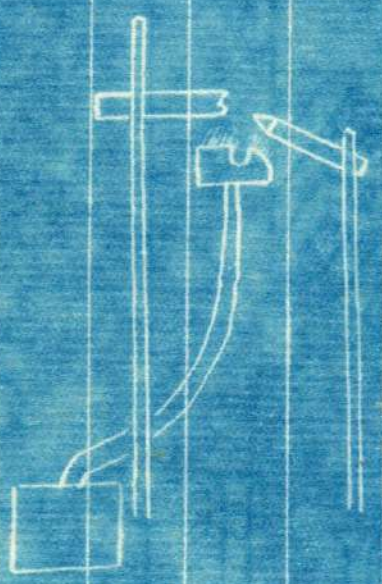
シ此海戰ニ使用シタル魚雷ハ裝藥量四百五十斤

大ト四ノ一トモ
聞き終ラズ

速才四ノ碼ノ四十五節一萬碼ヲ二十九節ナリト云フ

(二) ベック式探照燈

ポーワラス軍艦ニテ目撃スル処、概シテ英海軍ノ其ノ探照燈ノ奔光装
置ヲ「ベック」式改良中ナリ其ノ要領諸柱炭棒ヲ小磁ニシ且一面
炭棒ヲ回轉セルト今時ニ尤圖ノ如ク下方ヨリ「アルコホル」モ
送リ「クレーター」ノ形状ヲ均正ナラシムルニイリ



此改良ニ依リ光カヲ四倍乃至六倍ニ増加スト云フ